

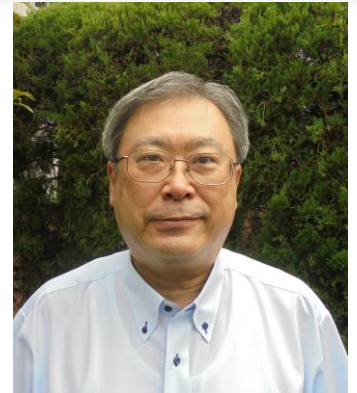


# ゼミ担当教員紹介

文学部 山岡政紀

# 担当教員 自己紹介 略歴

- 山岡政紀(やまおか・まさき)
- 1962年(昭和37年)、京都市生まれ
- 創価高校・筑波大学卒・筑波大学大学院博士課程修了
- 博士(言語学)筑波大学
- 筑波大学文芸言語学系助手、創価大学文学部講師・助教授を経て、現在、創価大学文学部教授
- カリフォルニア大学バークレー校客員研究員(2005)
- デリー大学セントステーブンス校客員教授(2019)



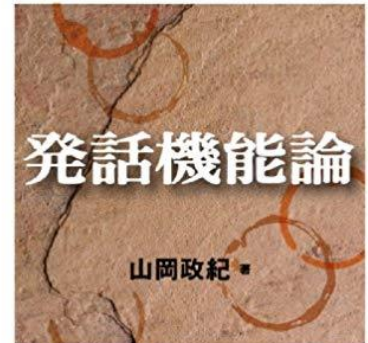
# 担当教員 自己紹介 専攻・著書

- 専攻は言語学、語用論、言語哲学、現代日本語学、人間学、創学
- 主な著書
- 『日本語2ndステップ』(共著、白帝社、1993)
- 『日本語の述語と文機能』(くろしお出版、2000)
- 『発話機能論』(くろしお出版、2008)
- 『コミュニケーションと配慮表現』(共著、明治書院、2010)
- 『ヒューマニティーズの復興をめざして』  
(共編著、勁草書房、2018)
- 『新版 日本語語用論入門』  
(共著、明治書院、2018)
- 『日本語配慮表現の原理と諸相』  
(編著、くろしお出版、2019)



# 私の研究テーマ：発話機能論

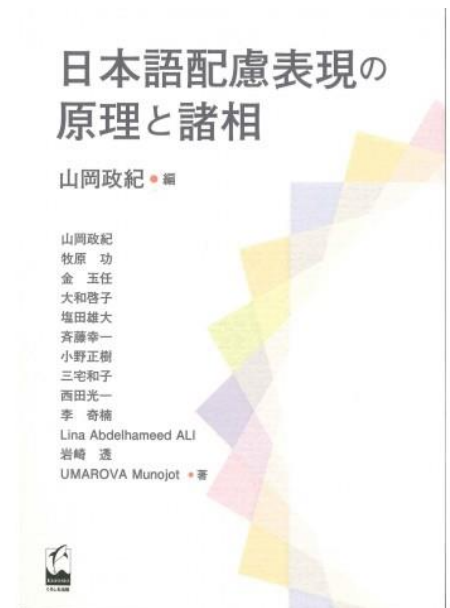
- 『発話機能論』（くろしお出版、2008）
- 発話機能＝対人コミュニケーションにおける発話の対人的機能を概念化したもの
- 会話のなかである発話がどのような機能を持つか。  
⇒相手との人間関係、共有している文脈・知識・社会通念などがすべて関与して決まる。  
(例)「当分、地方で休養しない？」は、  
《命令》か、《助言》か、《勧誘》か？



# 私の研究テーマ：配慮表現

- 『日本語配慮表現の原理と諸相』（編著、くろしお出版、2019）
- 配慮表現＝対人コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられることが、一定程度以上に慣習化した表現

（例）「ご想像にお任せします」（緩和表現）  
 「不徳の致すところです」（負担表現）  
 「それな」、「わかる」（共感表現）



# 私の研究テーマ：配慮表現

- 科研費研究課題：日本語配慮表現辞典の基盤形成のための配慮表現正用・誤用データベースの構築
- 研究分担者12名、研究協力者13名の大プロジェクト
- 『日本語配慮表現辞典』の企画が進行中
- 2021年 IPrA (国際語用論学会)にて発表予定
- テーマ：Contrastive Study of Considerate Expressions
- 英語、中国語、韓国語、タイ語、ウズベク語、アラビア語の配慮表現と対照研究
- e.g. Considerate Expressions in English
  - (1) Could you do me a favor?
  - (2) It might be better to leave there.

# 担当教員 自己紹介 趣味・特技

- 趣味: 読書、クラシック音楽鑑賞、文章執筆(ブログ)、スペイン語学習など
- 特技: クラリネット演奏
- 個人ホームページ  
<http://home.soka.ac.jp/~myamaoka/>
- ブログ  
<https://ameblo.jp/yamaokamasaki/>
- 家族: 妻・長男(創大生)